

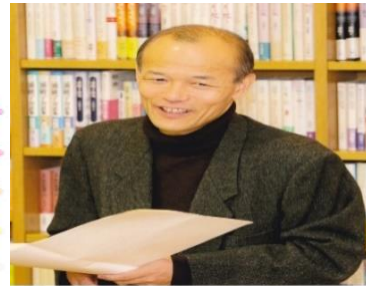
三浦綾子文学講演会のご案内

三浦綾子著『母』の世界。
命のために泣いて下さる方
に出会う旅。



『母』は『蟹工船』を書いた小説家小林多喜二の母セキが自らの生涯を語る物語で三浦綾子晩年の最高傑作です。子どもを産み育てる母の愛と家族の成長、治安維持法の時代に特高警察に息子を殺された母の悲しみ、そして彼女を訪れる真の慰めを描いています。山田火砂子監督、寺島しのぶ主演で映画化され、現在も全国各地で上映されています。

講師：森下辰衛先生



1962年岡山県生まれ。1992年から2006年3月まで福岡女学院短大および大学で日本の近代文学やキリスト教文学などを講義。2001年より九州各地で三浦綾子読書会を主宰、2011年秋より同代表。

2006年、家族とともに『氷点』の舞台旭川市神楽に移住し、三浦綾子文学館特別研究員となる。2007年、教授の椅子を捨てて大学を退職して以来、研究と共に日本中を駆け回りながら三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行っている。著書に『「氷点」解凍』（小学館）、『塩狩峠』の続編小説『雪柳』（私家版）、編著監修に『三浦綾子366のことば』『水野源三精選詩集』（いずれも日本基督教団出版局）がある。NHKラジオ深夜便明日への言葉、テレビライフラインなどに出演。

日時：10月13日（日）

開場：（受付）午後1時

開始：午後1時30分

会場：日本基督教団秩父教会
2階礼拝堂

牧師：温井豊 温井節子

〒368-0035埼玉県秩父市上町1-8-10

[問い合わせ] TEL (0494) 22-2431

◎入場無料

